

苦情相談の技術を学ぶ

市町村介護サービス苦情処理担当者研修会



市町村介護サービス苦情処理担当者研修会は、3月13日（金）、府国保連合会で15保険者26名が参加し開催された。

開会にあたり森事務局長が、介護サービスがより安定性を求められている中で、苦情相談業務に研修内容を役立ててほしいと挨拶した。

種智院大学人文学部社会福祉学科の明石隆行教授は「介護保険における苦情相談窓口での対応について」と題して講演した。明石教授は、介護保険における苦情相談窓口での対応について現場で働いていた経験を踏まえながら、具体的な技術を演習形式で分かりやすく説明した。

平成19年度市町村介護サービス苦情・相談受付状況の結果について、本会の佐藤介護相談係長より報告があった。



講演する明石教授